

11月の園だより



令和4年11月1日

一段と日の暮れが早くなり、朝晩の冷え込みが晩秋の訪れを感じさせてくれます。子どもたちは、体育まつりや遠足などの行事を経験し、体も心もぐんと成長したようです。今月末には発表会。子どもたちは、練習をはりきって頑張っています。当日は、たくさんのお名前が登壇しますのでお楽しみください。

◇健康診断を行います

11月11日(金)14時より園児健康診断を行います。ご都合でのお休みがないようご協力をお願いします。
お休みされた場合は、嘱託医徳永小児科で各自受診して頂くようになります。

◇発表会について

日時：11月26日(土)
午前：1部(たんぼぼ組・すみれ組) 9:30~10:30
2部(星組・雪組・月組) 11:00~13:00
場所：山澄地区コミュニティセンター
詳しくは後日お手紙にてお知らせ致します。

◇法被(はっぴ)登園について

11月9日(水)~15日(火)火災予防週間の期間中、月組・雪組は法被で登園します。

◇ご意見ご要望

特にありませんでした。

◇避難訓練

10月7日(金)に地震、14日(金)に火災を想定した避難訓練を行いました。

SAKURA COLUMN

♪こどもかいぎ♪

先日、「こどもかいぎ」という映画を観に行きました。理念を同じくする保育研究グループ「藤森メソッド」の園の1年間を追ったドキュメンタリーでした。

「こどもかいぎ」は、何か答えを導き出すものではなく、子どもが考え、友だちの意見を聞き、自分の思いを発信する場です。映画でも、全く発言しない女の子が回を重ね、年度後半になって自分の意見を発信したシーンがありました。それは、発言しなくても友達のことをよく聞いていて、時間をかけて「ここは何を言っても、自分の意見を聞いてくれる人がいるんだ」と確信した瞬間だったのだと思います。

「いっぱい話を聞いてもらった子は、人の話が聞ける子になる」と言われます。私たち大人は、子どもの声を、そして言葉は発しなくても心の声をたくさん聞こうと思います。

【11月の行事予定】

月	火	水	木	金	土
	1 英会話(月) わくわく広場	2 絵画教室(月)	3	4	5
7	8 わくわく広場	9	10 体育教室(月・雪) わくわく広場	11 園児健康診断 14:00~	12
14	15 発表会総練習(花) HAREの日 わくわく広場	16 発表会総練習(空)	17 体育教室(月・雪) わくわく広場	18	19
21	22	23	24	25	26 発表会
28 1号代休 絵画教室(月)	29 英会話(月) わくわく広場	30 誕生会			



令和4年11月1日
みなとこども園

ほげんだより11月号

葉っぱの色が赤や黄色へと美しく色付き始めました。落ち葉を拾う子どもたちも秋から冬への移り変わりを感
じているようです。朝晩の気温差から体調を崩す子どもも増えてきています。冬に向けて心も体も元気に過ごせるよ
う、予防接種をしたからといって安心して手洗い・うがいと規則正しい生活で、感染症を予防しましょう。

RSウイルス感染症

気管支炎や肺炎などを起こすウイルス感染症で、冬場に乳幼児の多くが
感染します。終生免疫ではなく、2歳までにほぼ100%感染すると言われ
ているため、毎年かかる子どもも多いためです。

増えています！
ウイルス性の
感染症に注意！

潜伏期間... 4～5日
症状... 鼻水・咳・熱
通常は1週間前後で完治しますが、なかには
肺炎や気管支炎を発症する子どももい
ます。特に心肺の基礎疾患がある子は重症
化しやすいので、注意が必要です。



水分補給、睡眠、栄養、保温
に注意し、安静にして経過を見
ます。脱水気味になると、痰が
粘稠になって吐き出すのが困
難になるので、水分をこまめに
与えましょう。

ヒトメタニューモウイルス感染症

気管支炎や肺炎などの呼吸器感染症をひきおこすウイルスの一
種です。1～3歳の幼児期の間で流行することが多いのですが、
大人にも感染します。乳幼児や高齢者では重症化することもあり
り、注意が必要です。

- 主な症状
- 咳（多くの場合、1週間程度続きます）
 - 熱（多くの場合、4～5日程度続きます）
 - 鼻水
- 重症化すると、以下のような症状が
出ることもあります。
- ゼイゼイ（ヒューーヒュー）という呼吸
（喘息様気管支炎、細気管支炎）
 - 呼吸困難など

細菌の同時感染にも注意！

熱が4日以上続く場合は、細菌にも感染し
ている可能性があります。その場合は抗菌薬が必
要となります。熱が長引く時は中耳炎や細菌
による肺炎などをおこしていることがあ
るので、もう一度早めに受診しましよ

どちらも飛沫感染
で広がり、集団感
染に注意です！！

手洗い・うがい
と咳エチケット
を忘れずに！

インフルエンザとカゼは何が違うの？

カゼは、喉の痛み、鼻水、くしゃみ、咳などの症状が
中心で、全身症状はあまり見られません。
インフルエンザは、38℃以上の発熱、関節痛、
筋肉痛など、全身の症状が突然現れます。また、カゼ
と同様に、喉の痛み、鼻水、咳などの症状も見られま
す。突然の高熱が出たら病院で診てもらいましょう。

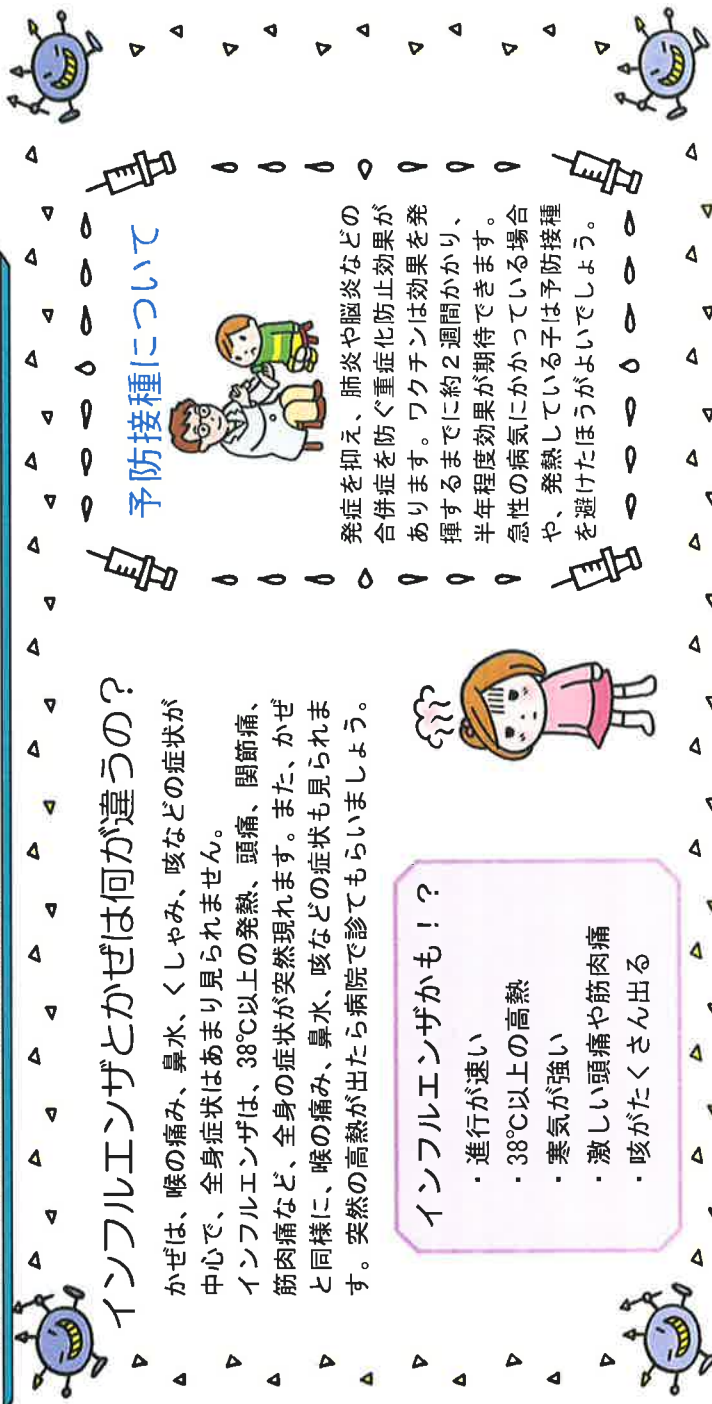
インフルエンザかも！？

- ・進行が速い
- ・38℃以上の高熱
- ・寒気が強い
- ・激しい頭痛や筋肉痛
- ・咳がたくさん出る

予防接種について



発症を抑え、肺炎や脳炎などの
合併症を防ぐ重症化防止効果が
あります。ワクチンは効果を発
揮するまでに約2週間かかり、
半年程度効果が期待できます。
急性の病気にかかっている場合
や、発熱している子は予防接種
を避けたほうがよいでしょう。





乳児期の関わり

～自分たちで考えて、行動できるような子どもを育てるためには～

★ 乳児期の子どもの関わり方

乳児期において…



不安な時に
応えてくれる人が
大切！！

この関わりを続けて
いくことで、信頼関
係が生まれる！




応答的な関わりが大切！

→ 何でもやってあげるのはなく、頼まれた時にやってあげるということ



なかなかゆっくりに関われなくても、
子どもが訴えてきた時は、しっかりと子どもの目を見て、
“〇〇がしたかったのね？”と共感してあげると、
子どもは嬉しいです。

< 保育室での1コマ  >

ありがとう



お靴履こうね



興味津々



パクパク
おいしいよ～



自分で食べて
みよっかな～

たくさん食べてね！

園では
多様な年齢の子どもと
関わることで
共に育ちあっています♡

このように、応答的な関わりを続けていくことで、

自分たちで考えて、行動できるような子どもを育むことに繋がります！

★ 子育ての6つのコツ

- ・発達に応じた目標を
- ・決めたルールを守る
- ・大声で叱らない



- ・誘惑から遠ざける
- ・タイムアウトを使う(例：これでおしまいね)
- ・メッセージはシンプルに(くどくど言わない)

